



木曽林務課だより 4月

令和8年度がスタートし、木曽郡の緑化活動も活発化していきます。

「緑の募金」を活用した活動に多くの県民の皆様にご参加いただくことを期待し、「木曽郡緑化推進委員会」をご紹介します。

令和8年度 木曽郡緑化推進委員会の通常総会終了!!

「緑の募金」の成り立ちはご存じですか？ 昭和25年(1950年)に戦後の荒廃した国土を緑化するために「緑の羽根募金」としてスタートして、その年には全国的な活動として、山梨県で第1回全国植樹祭が開催されています。

この貴重な募金を有効に活用するために、全国的な活動を担う「(公社) 国土緑化推進機構」、県的な活動を担う「(公財) 長野県緑の基金」(緑の基金)、そして地域の活動を担う「木曽郡緑化推進委員会」(委員会)が存在します。

当委員会は、緑の基金と協調して緑豊かな郷土づくりを推進する目的で昭和59年に設立され、地域の植樹祭や育樹祭をはじめ、「みどりの少年団」の活動などを支援しています。(写真は活動の一例です。)



令和7年度の植樹祭の様子(木祖村)



木祖中学校みどりの少年団も植樹!

委員会では、令和8年4月10日に構成員である木曽地域の町村長が集まって通常総会が開催され、「緑の募金」の状況や緑化推進の事業活動の実績と計画について確認しました。

また、併せて木曽地域振興局の橋渡林務課長から、木曽谷・伊那谷フォレストバレーの取り組み等について説明がありました。

近年の募金額の減少を危惧し対策を検討することや、委員会として必要な事業活動は、積極的に展開していくことを確認しました。

皆様の募金による参加が、木曽地域の緑化活動や郷土を愛する青少年の育成を支えておりますので、引き続きご協力をお願いします。



通常総会の様子



活発に議論する町村長たち